

我孫子市消費者の会

お知らせ

2009年6月20日 第35期 No. 3-396号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouhisyanokai.com/>

バス見学会

実施日 7月30日(木)
行き先 セレモニュータウン小室駅ホール
グリーンプール岩佐農園
(ブルーベリー摘み取り)
集合時間 9時15分
集合場所 ふれあい広場(我孫子駅北口)
申込み先 7183-1434 和田
先着40人

費用 昼食代、農園入場料2,500円
先月号に書きました時の最大のミス。費用は2,500円でした。お詫びして訂正します。大変好評でお申し込みが続いていますが、バスの座席が、40名分あるとわかりました。あと先着6名の方を受け付けます。

岩佐農園は無農薬ですので、虫がいます。肌が出ないような服装をご用意ください。大量に欲しい方は別途買うこともできます。

消費者庁設置関連法成立

国会で審議されていた法案が5月29日、参議院で全会一致で可決成立しました。裏面に新聞記事を掲載します。中心は苦情相談業務の充実ですが、参議院の付帯決議では、消費者の権利の確立や、消費者団体への支援もいくらか幅広く行われる文言が入るなど、5月12日の公聴会での私の発言が取り入れられた形になりました。

産業界育成に重点を置いてきた戦後の省庁のあり方が、消費者(国民)の方へ向くためには、まだまだ課題は沢山あるでしょう。本当に機能するように、これからも発言を続け

て行かなければなりません。

新聞にも書かれた「日本弁護士連合会・消費者行政一元化推進本部長代行」の中村雅人弁護士は、30年来の師です。その他、「消費者行政充実ネットちば」参加の方達とも情報交換をしつつ、安全な社会を作るために力を合わせて行くつもりです。

7月定例会のご案内

7月6日(月) 13:30~16:00
我孫子南近隣センター・8階 調理室
NHK番組プロフェッショナルで、6月2日に放送された「和郷園」の木内社長のDVDを見ます。

北総台地の農家集団から出発。規格外で市場出荷できない農産物を、加工工場を作り出荷しています。「もったいない」をビジネスにした人。農家の収入を安定させるために、次々にアイデアを出し実現させ、中には年間1億の収入のある人も。「誇りと夢は、自らつかめ」がキャッチコピーです。90分かかりますが、一見の価値あり。ご参加ください。

8月定例会はお休みです

渡辺康子さん表彰

エコピュアあびこの代表であり、消費者の会の運営委員でもある渡辺康子さんが、我孫子市のさわやかな環境づくり賞を受賞されました。今回は傘の生地を使ったエコバッグを1,500枚以上作ってプレゼントしていらっしゃる行為に対しての表彰です。定例会に来る消費者の会のメンバーはほとんどプレゼ

ントされています。

6月8日に開かれた消費者フォーラム in 千葉でも展示しましたが、大好評で、作り方を記したチラシはアツと言う間になくなりました。クリーンセンターから古傘をもらって、はずして洗って仕立てる作業は、根気のいる仕事です。頭が下がります。あびこ広報その他で紹介される予定です。ご覧ください。

6月定例会の報告

クリーンセンター課長が会議で来られなくなったため、リサイクル推進担当の森田さんが来ていただきました。

一般家庭の生ゴミのみの処理を21年1月から約1,200世帯でスタートしています。初めは印西の処理施設で資源化を行いましたが、自区内処理の原則で、5月からはクリーンセンター内で試行的に稼働しています。処理方法はHDM菌を使った生ゴミ減容システムで、24時間で90%~95%を消滅、残りを堆肥として利用できるもの。今後は剪定枝木のチップと混ぜるなど堆肥化の研究を行う予定。

生ゴミの回収については夏場の腐りやすい時期の悪臭の問題や、袋を何枚も使っている人がいると、手間がかかるのをどうしていくかの課題があることが解りました。実施地区の方は、生ゴミの水を良く切って出してください。

小学生に対する啓発など、会でも協力していくことを申し出ました。裏面に、自治会を通して回覧されたお知らせを載せます。

緑のカーテン講習会の報告

6月7日に行った上記講習会は、一般24名、会員13名の参加がありました。皆さん熱心で、是非作りたいと、質問も多く出されました。青山台2丁目の中村さんのご主人が来てくださり、ご自身の体験から適切なアドバイスをしてくださって、とても好評でした。



総会時の市民活動紹介から

② ふれあい弁当の会

1987年栗原さんが立ち上げました。ひとり暮らし、または調理が不自由な二世帯のお年寄りに、お楽しみのため手作り昼食弁当を月3回お届けしています。

ボランティア205人。利用会員220人。調理は市内6会場で、同一献立。季節感あふれる「ふれあいカード」付き（カード班が作成）。お弁当代一食330円。創立時から変わらず、全て食材費に使用。配達、容器の回収も全てボランティア。市内中学生の手紙やカードも添えて「長寿を喜ぶことができる社会作り」に参加しています。

悩みは、創立当初のメンバーが高齢化して、新会員が少ない地域があり、月1回になっているところもあること。楽しい調理に参加して下さる方を募集しています。

会員の坂巻道代さんが3代目の代表。

連絡先 7182-2268

③ ふれあいサロン連絡会

1994年、天子山ふれあいサロン（個人宅）を開きました。その後、小学校や近隣センターを利用し、現在7か所のふれあいサロンがあります。その連絡会として、企画・運営・情報交換を月1回開催。

ふれあいサロンは、高齢者を対象に、地域交流・社会参加・健康づくり・寝たきり予防などを目指し、市の「きらめきデイサービス事業」の委託を受けて開かれています。

各サロンは月1回から3回開かれ、ボランティアによるお楽しみや簡単な体操などが行われ、お茶をいただきながら、懐かしい唱歌や話がはずみます。お茶代として100円。各サロンは市の福祉バスを借りて、東京や近県にまで足を延ばすこともあります。

会員の福田禎子さんが立ち上げ、代表。

連絡先 7182-2772

水道工事のチラシにご用心

投げ込みチラシの工事店に頼むと、他の工事などを次々やって、高額を要求されるとか。工事は、市の指定店に頼みましょう。